

おでかけだより

夏号 NO. 77
2023年7月1日



発行：NPO法人『おでかけサービス杉並』
〒167-0051
杉並区荻窪5-18-11サニーシティ荻窪103
TEL 03-6425-8584
FAX 03-5397-1755
<http://www7b.biglobe.ne.jp/~npo-odekake/>



第19回通常総会を終えて

去る6月3日、「特定非営利活動法人おでかけサービス杉並」の通常総会を開催いたしました。2022年度は、新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら、「暮らしに欠かせない外出の支援」、そして「でかけていきたくなる身近な居場所づくり」に取り組みました。大きな事故もなく業務・活動を進められましたこと、利用者・参加者の皆さま方のご協力の賜物です。まことにありがとうございました。2023年度も、もう7月！ 各事業部門、描いた思いを確実に形にしようと元気に動いております。どうぞ、引き続きお力をお貸しいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

運転協力員 大募集キャンペーン

毎年11月に開催される、すぎなみ地域大学『福祉車両運転協力員講座』に向け、年々減少傾向にある福祉有償運送の担い手を増やすべく、7月より大キャンペーンを繰り広げていきます。近年、タクシーの予約が取りづらいという事も有り、ちょっとしたお手伝いがあれば普通の乗用車に乗り込めると言う利用者が半数以上占めており、運転免許があれば介護職の資格が無くても始められるので※、子育てがひと段落ついたママや、在宅ワーカーなど多様な人たちに呼びかけていきたいと思っております。

(※運転協力員講座の受講修了証を取得後、団体に登録することが必要です)



運転協力員の声

参加して充実の日々!

高橋 研児

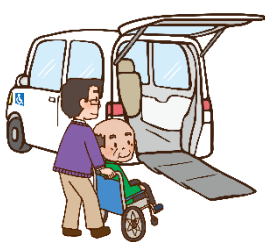
「活動を始めて1年半」

退職後自由な時間をどのように過ごそうかと思案していた時、すぎなみ地域大学「福祉車両運転協力員講座」の案内が目にとまり、新たな一步を踏み出すヒントになるのではと思い応募しました。修了後、「どこことなくゆったりとした雰囲気が自分に合ってる」と感じ、このおでかけサービス杉並に登録しました。果たして務まるかと不安でしたが、ベテラン運転員にいろいろと教えてもらい、その後もわからないことがあれば都度アドバイスをもらっています。続けられているのは周囲の支えがあったからこそです。その後いくつか別の仕事も始め、現在は空いた時間でおでかけサービスを行っています。フルで貢献できていないので、周囲には迷惑をかけていますが、自分としては、無理のない形で長くこのサービスができればと思っています。車いすの方を安全に目的地まで送迎するという使命は当然緊張を伴いますが、ひとつ終えるごとに達成感を味わえ、多少なりとも貢献できたという充実感も得られます。これが自分にとって、こころの栄養となって日常生活全体に好循環をもたらしています。これからも、ここで長く「小さな貢献」を積み重ねていければと思っています。

法人6つの事業 2022年度のふりかえりとこれから

◆ 移動サービス

外出自粛が払拭され、運行回数は6924回（前年比102%）、法人史上最高の実績となりました。



前年はZOOM開催とせざるを得なかった「運転協力員安全運転ミーティング」を、顔を合わせて3回開催。互いの体験を共有し、教えあう場が活動にとって大切であることを改めて感じました。2023年度は、より充実した活動のため、運転協力員の増員を目指します！

◆ ゆうゆう桃井館（区委託事業）



館内飲食禁止や利用人数制限が解除され、徐々にコロナ以前の企画が戻ってきました。新企画もスタート！他館から譲り受けた卓球台が人気となり、新しく館に通ってくださる方が増加。また、調理設備の整った桃井館の特徴を最大限にいかした企画を次々と開催しました。多世代交流も意識しながら、今後とも、「高齢者のいきがい、生涯現役社会の地域拠点」の役割が担えるよう頑張ります。

◆ ゆうゆう善福寺館（区委託事業）

テーマは『こころ寄せ合う地域家族』！コロナ禍でも「安心して歩いて行けるゆうゆう館」として多くの方に来館いただきました。町会や地元の小中学校、善福寺保育園、ケア24善福寺等と地域密着型の活動を展開。10周年記念イベントやまつりには笑顔が溢れました。2023年度は、東京女子大学との協力企画や、認知症の勉強会「住み慣れた地域でいつまでも自分らしく生きる」を継続します。

◆ 杉並区外出支援相談センター もび〜る（区委託事業）

2022年度も、外出がむずかしい方々、家族や支援者から寄せられる相談に丁寧に対応し、一人ひとりに適した外出支援（移動サービス・付き添い）の選択を支援しました。『おでかけガイド・車編』の発行、ホームページでの最新情報の更新、セミナーや外出企画も行いました。昨今、タクシーの配車アプリの普及に伴い、デジタルデバイド（情報格差）対策が求められます。今後も情報収集と発信に力をいれます。

◆ ちょこっとサポートNEKOの手



施設等での傾聴・定期的な散歩等が制限され、前年より利用は35%減少しました。しかし、コロナ後を見据え、サポーター研修と交流会を開催し、新規サポーターが増えました。企画のチラシや、おでかけだよりでの広報に力をいれたことで、2023年度、利用の問い合わせが増えてきています。

◆ オープンリビング軒やきに見える家



感染対策の上、できるだけ「開いておく」ことを目指した結果、参加者は626名（前年比160%）に。求められている「居場所」であることを実感しました。男性の参加も多く、ケア24やケアマネジャーの紹介で新規参加者もみえます。今年度はイベントを増やし、「0円たからもの市」「西荻・善福寺オープンサロンDay」にも引き続き取り組みます。「ご近助会（2層協議体）」では町会とのつながりを深めたいです。